高層建物向けの昇降機システム

竹内伸和*

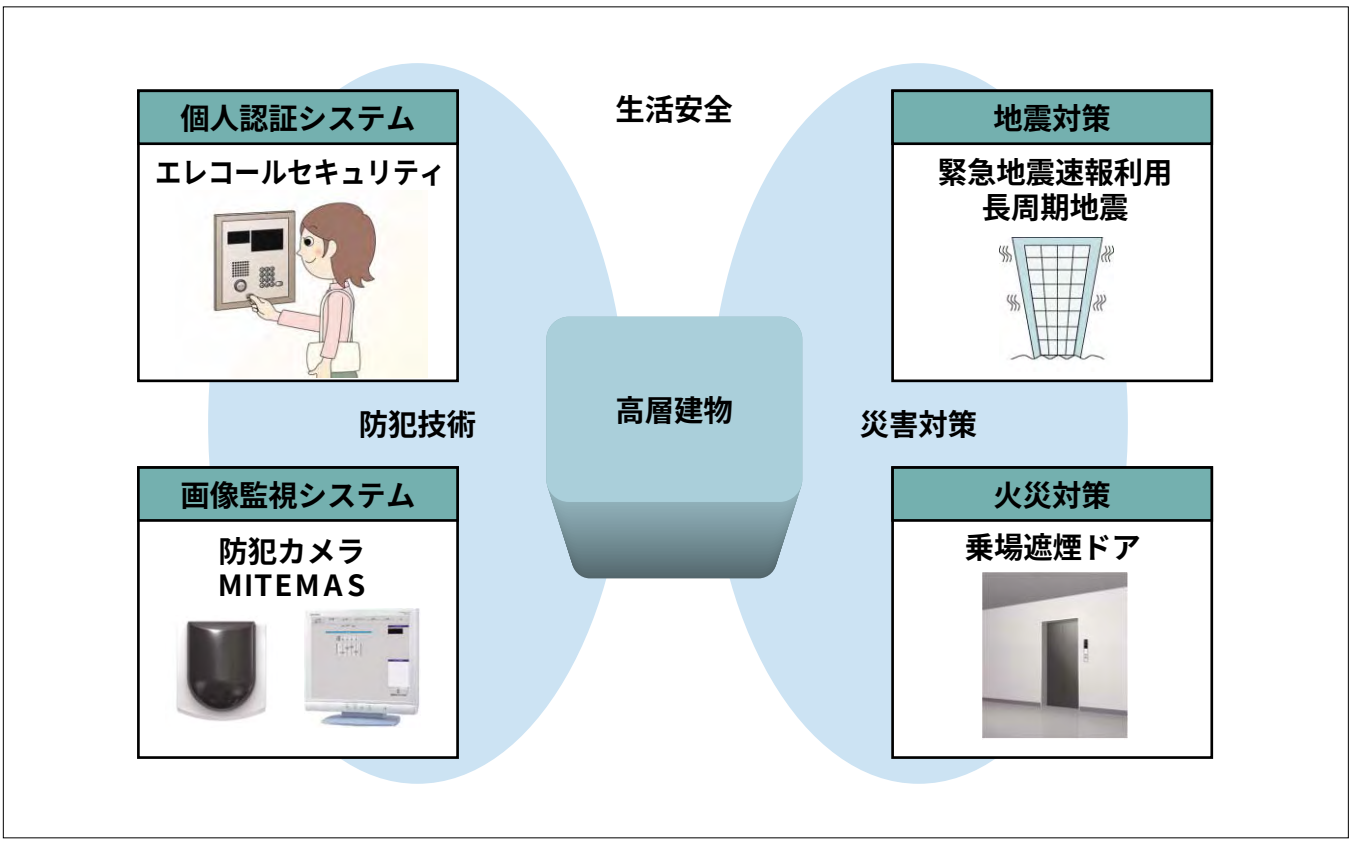
Elevators for High-rise Buildings

Nobukazu Takeuchi

要　旨

現在，数多くの幅広い年齢層の生活者が混在して居住する高層集合住宅では，生活者の“生活安全”に対する配慮がこれまで以上に重要視されている。高層建物における昇降機は，生活者にとって日常的には実質唯一の縦の交通手段として必要不可欠な存在である。この生活環境の重要な部分を担う昇降機は，とりわけ，高齢者，幼児，身障者などだれにとっても便利であって，しかも安全であることはもちろん，災害時にも“生活安全”の視点に立って生活環境を保全する必要がある。

本稿では，高層集合住宅に代表される高層建物の昇降機で重要視される“生活安全”の視点から特に防犯技術と災害時対策について述べる。まずは，今後の高層集合住宅における昇降機の防犯技術の中核を担うであろう２つの技術として，オートロックシステムに関連して“個人認証システム”，及び防犯カメラなどの“画像監視システム”について述べる。さらに，災害時対策の中心となる２つの技術として“地震対策”及び“火災対策”について述べる。



高層建物の生活安全

高層建物における昇降機で，生活者の“生活安全”の視点から特に重要視される“防犯技術”と“災害対策”について示す。
防犯技術として，個人認証システムのエレコールセキュリティシステム，画像監視システムとして，パソコン式昇降機監視システムの“MITEMAS”，そして災害対策として，地震対策の緊急地震速報利用や長期地震対策，及び火災対策の“乗場遮煙ドア”を採り上げる。

*稲沢製作所